

カレッジ通信

発行
東京建築
カレッジ

百聞は一見に
如かず！

授業の見学
お気軽に！

良い設計とは何か。判断できる力を！

「間取り」の創造から始まる製図・計画系の連続授業



1年生「住宅計画演習B」

東京建築カレッジの教育は、製図・設計系の授業も充実しています。1年次の9月に始まる「住宅計画演習B」（山本厚生講師）は、住む家族を具体的にイメージしながらの間取りづくりから始まります。その内容は、2年次の夏から秋にかけて実施される「建築性能計画演習B」（長野智雄講師、西川みつ子講師）の模型作りにつながっていきます。「良い設計とは何か」考える力を育てるものです。

9月18日（金曜）、1年生では新しい授業が始まりました。山本厚生先生の「住宅計画演習」です。山本先生は最初に問いかけます。「設計者は

誰が育てるのか」。元気の研修生から様々な声が上がります。

研修生の意見を黒板に書き出した後に、先生は語ります。「設計者は、住む人とつくる人から学んで成長する。町場で育つ、といてよい。だから、つくり手である君たち、良い設計とは何か、見抜く判断力をもつことが大事なんだ」。

さらに、大工に対して「俺がいい作品つくるから、お前つくってくれ。そういうタイプの設計はダメ」と強調します。カレッジ生の中には、設計の仕事をしている人もいます。また、卒業後、設

全建総連 第31回全国青年技能競技大会 in 松本 氏平達也さん、3回目の銀賞！

9月23日、長野県松本市総合体育館で開催された「全建総連 第31回全国青年技能競技大会」で、カレッジの卒業生・現役生が奮闘しました。

氏平達也さん（第11期生、写真右から2人目）は銀賞、第26回、第30回大会に続き3回目の銀賞です。

今回の大会では建設産業での女性の活躍を促進するため女性特別枠が新設、全国から4人の女性が出場しました。その一人が2年生（第19期生）の大野成美さんです。大野さんには特別賞大会議長賞が贈られました。



2年生「建築性能計画演習B」

計分野で働きたいという人もいます。彼らの心にこの言葉はどのように響いたでしょうか。

模型づくりで、設計の仕事を仮想体験 この授業では、住む家族の具体的な想定しながら間取りを考える作業に取り组ませ、11月上旬にレポートを提出させます。

年明け2、3月には、その間取りを建築設計のプロの仕事に仕上げる「設計製図IB」（長谷部浩講師）という授業が行われ、2年次には「建築設計製図II B」（長野智雄講師、西川みつ子講師）、「良い設計とは何か」

模型づくりで、設計の仕事を仮想体験 この授業では、住む家族の具体的な想定しながら間取りを考える作業に取り组ませ、11月上旬にレポートを提出させます。年明け2、3月には、その間取りを建築設計のプロの仕事に仕上げる「設計製図IB」（長谷部浩講師）という授業が行われ、2年次には「建築設計製図II B」（長野智雄講師、西川みつ子講師）、「良い設計とは何か」

師）、「建築性能計画演習B」（同）で、各自が敷地や予算、法規の制約を受けながら自由に設計した住宅の模型作り（100分の1、50分の1）に向かいます。カレッジ生の大半は、住宅の施工に直接たずさわる職人です。これらの授業には、住む人の要求に応え、設計の在り方も自分の頭で考えられるつくり手に育ってほしいという願いが込められています。

第20期生（1年生）の授業から

「民家研修」

9月20日（日曜）、第20期生（1年生）は「民家研修」授業で、橋本英夫統括指導員が手がける現場3軒を先生の詳細な解説付きで見学しました。「構造力学演習」の松田紘講師も同行しました。



橋本先生の施工現場を見学

場所は3軒とも玉川上水に近い静かな住宅街です。いずれも木造軸組工法の魅力を引き出すリフォームと新築の事例。橋本先生は、施主さんと一緒につくり上げ

る姿勢の大切さを強調しました。

ヒバ油を天然防腐剤として使用すること、金物を隠す細やかな対策、床鳴りの軽減法など、多様な技法を施工事例を目的のあたりにしながら習得できる貴重な機会でした。

この日の午後は、小金井公園内にある「江戸東京たてもの園」に移動。アニメ「千と千尋（ちひろ）の神隠し」に登場する建築のモデルとされる豪華な銭湯な



江戸東京たてもの園 東ゾーン

どがある人気観光スポットで、園内は観光客で混雑していましたが、カレッジ生は橋本先生、松田先生をガイドに、関東大震災の復興期に建てられた下町の住宅や商店のコーナーから、じっくりと学習していました。

「実習棟解体」

9月26日（土曜）の授業は、江東実習棟の実習棟の解体実習一日目です。ただ、解体するのではなく、建築の細部を確認し

ながら進められます。高所作業のため、安全教育を徹底し、全員がヘルメット、安全帯を正しく着用してから、2グループに分かれて作業が分

トしました。雨が上がり、暑くも寒くもない快適な気候の下、安全第一で授業が行われました。

1年生の指導員責任者、佐々木雄司先生は言います。「解体を通じて建物の構造をつかんでもらうことが目的です。しかし、解体は建築業界でもっとも危険な仕事。危ないと判断したら、降りてもらいます。私たちも緊張しながら指導しています」

授業の見学を歓迎します！

（要 事前連絡）

カレッジの授業日は、毎週金曜、土曜。若手社員の教育訓練に關心をお持ちの事業主の皆様のご見学を、特に歓迎しています。



解体は屋根板の外しから。安全帯の正しい着け方も学習

カレッジ生インタビュー！ 公務員よりも大工の道を選ぶ。第20期生 水村 竜也さん（20歳）



大学に4年間行くと、自分はきつと遊んじゃうと思っで、専門学校に入って公務員になるための勉強をしていました。その成果で、国家公務員試験に合格できたんです。

でも、よくよく考えると転職があるのはちよつと嫌。そこで高校時代からときどき手伝っていた家業の、大工の道を志すことにしました。カレッジのことは母親が調べてくれました。両親からの強い勧めで入学しましたが、これまでやったことがないことが勉強できる、この学校は結構楽しいです。

第21期生（来春入学） 第2回募集締切せまる！

東京建築カレッジ 第21期生（2016年4月入学）第2回募集

- ◆学校説明会 10月4日（日）①午後2時から、②午後7時から
- ◆応募締切 10月13日（火）
- ◆試験日 10月18日（水）午前10時から午後3時

お問い合わせはお気軽に。電話03-5950-1771 西岡、吉川